



Vol. 100

CONTENTS

【コラム】「ぺた語義」のイラストを描いて… 久野 未結・久野 靖

【解説】100 回の重さ… 高岡 詠子

【解説】初学者向けプログラミングの授業におけるソーシャルな知のデザイン（第2回）… 斎藤 俊則

COLUMN

「ぺた語義」のイラストを描いて



「ぺた語義」100 回おめでとうございます。

思えば東京藝術大学へ通っていた学生時代に頼まれたのを気軽に引き受けて、気づけばそんなにイラストを描いていたのか……という思いです。約2年の留学や卒業制作、就職などいろいろ環境の変化はありましたし、結構な歳になるまで父親の仕事は「なにやらパソコン関係」程度の理解しかしていなかった私がそれでも続けてイラストを描き続けていたのはコラムの原稿を毎月拝見するのが好奇心の刺激される体験であったからです。正直に言うと畑違いすぎて何度も読み返したり調べたりしないと何について書かれたコラムなのか頭に入っていないときもあります。でも、分からないものほど自分でも考えもしなかったイメージが心に浮かんできて面白いアイデアとなることも多いです。私が毎月コラムから受ける刺激同様に、私のイラストもまた食材に最後に一振りするスパイスのように原稿を引き立てるイラストとなり読者の皆様に刺激を与えられるものでありたいと思っています。またデザイン専攻なのにロゴデザインが苦手だった私の頼みを快く聞いてタイトルロゴを制作してくれた、大学同期の中田恵さん（現在は中田こぶしの名前で活動）にもこの場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

久野 未結(会社員)

編集委員かつ、そもそもの首謀者として説明を。「ぺた語義」の発端は2010年秋、本会で情報教育について熱心に活動していたメンバ間で、本誌でもっと教育関係記事のプレゼンスを高めたいね、という話が持ち上がったことです。それなら「教育コーナー」を常設してしまおう、となり、中島秀之編集長（当時）のお認めをいただいた後、どのような形にするかアイデアを出し合いました。そこでイラストやコーナーのロゴが欲しいね、となり、プロに頼む予算などないことから、当時学生だった長女に学生アルバイトとして引き受けてもらいました（中田さんにも仲介いただき、すてきなロゴができました）。社会人として独立した後も続けてもらえて感謝しています。そして毎月、どんな「鳥さん」が見られるか楽しみにしています。でも「パソコン関係」じゃないんだぜ。

久野 靖(電気通信大学)